

江東区政 かわら版

第18号

発行月：2025年9月

発行：江東区政を考える会

連絡先：〒136-0073 江東区北砂 5-20-18-1210

電話・FAX 03-3615-4258 メール sg735478@ka3.so-net.ne.jp

☆活動資金のご寄付をお願いします☆

※「かわら版」発行をはじめ活動を続ける資金が不足しております。

ゆうちょ銀行 店名【〇〇八】(008) 口座番号 0907947

2025 参議院選挙の結果を考える

宇都宮健児（江東区政を考える会共同代表・弁護士）

1. 自公過半数割れ

7月20日に行なわれた参院選では、自公が過半数割れした。自民党を中心とした政権が衆参両院とともに少数与党となるのは1955年の自民党結党以来初めてのことである。

自公連立政権が歴史的敗北を喫した背景には、「政治とカネ」の問題に対する国民の批判に加えて、実質賃金が上がらず円安物価高で生活が苦しくなった国民の怒りがあったものと思われる。

2. リベラル政党の伸び悩みと後退

自公が過半数割れしたが、リベラル政党は自公連立政権批判の受け皿にはなれなかった。立憲民主党はかろうじて改選前議席を維持したが、比例区の得票数では国民民主党、参政党に抜かれ野党第三位になった。共産党は改選前7議席を3議席に減らし、比例区の得票数も約286万票で前回の参院選より約76万票減らした。社民党は比例区の得票率が2%を超えかろうじて政党要件は満たしたが、前回の参院選より得票数は約4万票減らした。

3. 国民民主党と参政党の躍進

自公が過半数割れし、リベラル政党が伸び悩み後退したのに対し、国民民主党は改選前4議席が17議席に、参政党は改選前1議席が14議席に躍進した。この結果を見ると、自公連立政権に対する批判の受け皿には、国民民主党や参政党がなった

と言える。

今回の参院選では投票率が上昇したが、これまで投票に行かなかった若い世代や現役世代が投票に行き、国民民主党や参政党に投票した可能性が大きい。参政党は「日本人ファースト」といった排外主義的スローガンを掲げたが、このような排外主義的スローガンよりも、若い世代、現役世代の生活の不安や不満に寄り添った政策が支持されたとみるべきである。

4. 無党派層の支持を取り付けるには

有権者の圧倒的多数は無党派層である。特に若い世代は無党派層が多い。選挙で議席を増やすには有権者の多数を占める無党派層に訴える力、訴求力が重要である。このような無党派層の支持を取り付けたのが、今回の参院選では国民民主党と参政党であった。

リベラル政党は、自分達が無党派層にどのように見えているか自己を客観視する必要がある。また、無党派層に対して訴求力のある選挙公約の打ち出し方、SNSやネット動画の効果的な利用方法、無党派層に支持を広げられるような日常活動の在り方などについて真剣に検討する必要がある。リベラル政党が今後前進するためには、今回の参院選結果に対する徹底的な総括が必要である。

議席獲得数

自民	39
公明	8
立憲	22
国民	17
参政	14
維新	7
共産	3
れいわ	3
保守	2
社民	1
みらい	1
無所属	8

住宅地のデータセンター建設に法的規制を

生成AIの急速な普及で、各地でデータセンター(DC)の建設が拡大。江東区でも住民の知らないうちに次々とDCが建てられています。

DCは沢山のサーバーを置き、高度な演算処理を行うことで大量の熱が出て、そのため24時間冷却する必要があります。屋上に沢山の室外機を設置しますが、その排熱による影響が大きな問題になっています。

東陽町駅に近い塩浜2丁目と千石3丁目のDCは住宅地のマンションに近接して建設が進められることで住民から建設反対の声が上がっています。

千石3丁目の場合は、50mの高さのDCの建物は、15階に住む人には目の前に室外機がずらりと並び、排熱で5度くらいの気温上昇が予想され深刻です。

24時間365日稼働のモーターによる騒音や電磁波、何よりもDCは電力消費量が極めて大きいことが問題です。

また建設予定地は海面より低く、江東区のハザードマップで、高潮などの浸水地域とされています。近く

の川南小学校の玄関には、「この標高はマイナス1.6m、高潮で5.1mまで浸水する可能性」と書かれた看板が設置されています(写真)。

現在DCを規制する法律はなく、従来の建築基準法に沿っていれば許可がおりるかもしれませんが、業者は立地が水没可能性があっても、東京駅から近く土地が安ければ良いと考えるのですか？

建設予定地は一面からヒ素やシアンなどが検出され、土壌汚染も分かりました。

江東区は4月にDC建設に関する対応方針を出しましたが、住宅地での建設規制には不十分です。流山市では条例をつくり、DC建設が中止。日野市や昭島市でもDC建設反対の住民運動が進められています。



教育委員会が公立幼稚園廃園計画を見直し

—平久、元加賀区立幼稚園の廃園計画中止へ—

7月1日文教委員会において、教育委員会学務課長から江東区立幼稚園廃園計画の見直しをするとして、平久幼稚園(写真上)、元加賀幼稚園(下)を存続すると報告がありました。

これまで区は、少子化と入園希望の減少を理由に今後の「区立幼稚園の在り方」において廃園縮小を前提にした計画を実行してきました。

幼児の保護者の方から「区立幼稚園の存続と全園での3年保育・預かり保育を求める陳情」が、区議会にも届き1425人の署名が提出されました。



署名には、新日本婦人の会江東や保育問題協議会を中心に協力して来ました。既に3年保育を実施している区立幼稚園には、定員以上の入園希望があります。私たちは、今後廃園が計画されている他園についても存続を求めています。

♪ 一落語と講演会 ♪

「幸せなら手をたたこう」
みんなの知らない誕生物語

10月4日(土) 14:00～

会場：江東区文化センター

3F 第1・第2研修室

参加費：一般 1000円

中学・高校生 500円

講演：木村利人さん

(早稲田大学名誉教授)

落語：古今亭菊千代さん

(落語家、深川9条の会呼びかけ人)

「幸せなら手をたたこう」この歌の歌詞の背景には、実は太平洋戦争中の日本軍によるフィリピン住民虐殺があります。作詞者の木村さんの講演と菊千代さんの落語で、そのストーリーをひもときます。※予約制となっています。

メール：fukagawa9jo@gmail.com

主催：深川9条の会